

第一回「文芸思潮」短歌賞 発表

第一回「文芸思潮」短歌賞に御応募をいただきまして、まことにありがとうございます。初回で宣伝不足だったこともあり、募集期間が短かったせいもあって、応募総数は五六名一二首に留まりましたが、当初の目的である日本の伝統に則った叙情歌としての短歌は集まり、自然と人生とに和した詠嘆精神は求めることができました。

昨今の日本の現代短歌は荒廃の色のうちにあり、正岡子規が提唱した近代短歌からますます離れて観念の遊びになつていく傾向にあります。これに歯止めをかけるべく、この短歌賞を始めましたが、呼びかけに応じてくれた方々に、短歌精神の生きた命脈を感じることができました。

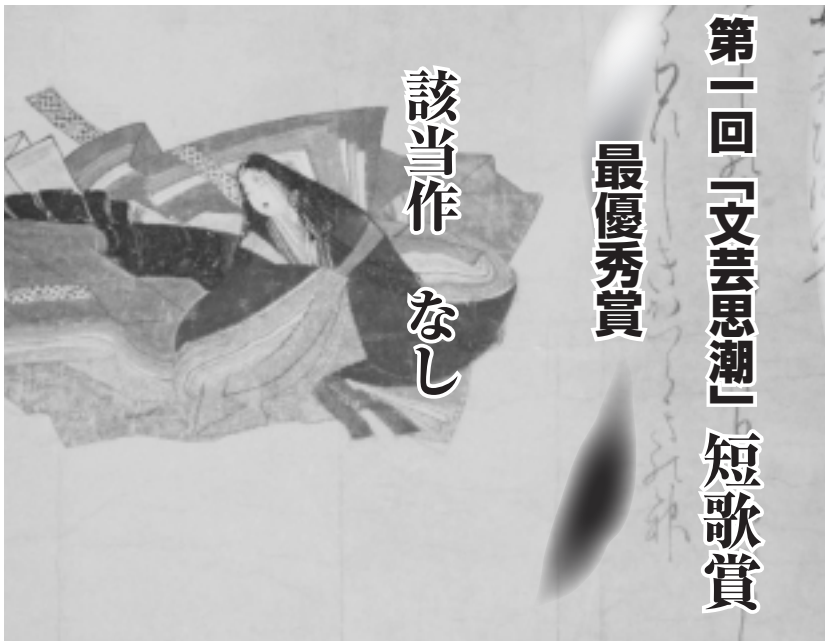
一月末に集まった応募作の中から、まず選考委員会予選担当によって第一次予選、第二次予選、第三次予選の選考が行なわれ、それらを通過した作品を対象に、四月二十三日、鷺野和弘、五十嵐勉の各選考委員により、最終選考が行なわれました。厳正な審査の結果、以下の通り決定しましたので、ここに発表させていただきます。

第二回「文芸思潮」短歌賞は、明年も今年とほぼ同じ要領で募集を行なう予定です。どうぞ奮って御応募ください。
〔文芸思潮〕短歌賞選考委員会／文芸思潮〕

第一回「文芸思潮」短歌賞

最優秀賞

該当作なし



優秀賞

辻花ひろ

(大阪府松原市)

新井真樹

(埼玉県児玉郡)

葛岡昭男

(千葉県流山市)

奨励賞

川野忠夫

(群馬県伊勢崎市)

浦田穂積

(佐賀県唐津市)

武藤蓑子

(東京都多摩市)

マキミチル

(岡山県真庭市)

廣岡まり子

(東京都世田谷区桜新町)

佳作

鈴木深優

藤野ハレ

内田沙夜

東家芳寛

山内昌人

清水将一

あおい満月

岡崎佐紅

星野秀水

毛利 豊

福士謙二

原 比呂子

近藤國法

高橋 良

水色

水村 凜

督T O K U

入選

世秋恭之介

小池 進

愛闘希

下村きよ子

萬野行子

